

2017年プレミア・ナパ・オークションでもトップ・ロット。2014年には史上最高落札価格。24万ドル(60本)を記録した今最も入手超困難なワイン

オーナーのブレット・ロペスはJ. J. コーンエステート創業者の孫。創業者のコーン氏はハリウッドの映画配給会社MGMで“ベンハー”、“オズの魔法使い”などハリウッド映画の黄金時代を築いた映画人です。このスケアクロウは“オズの魔法使い”に登場するカカシに由来しており、映画人であった祖父に敬意を表してつけたものです。コーンエステートのカベルネは第二次世界大戦後イングルヌックに使われ始め、その後オーパスワン、ニーバウム=コッポラ、ダックホーン、インシグニアにも供給されてきた歴史ある畑です。1945年植樹の老木がまだ残り、“オールドマン”という愛称でナパ最古の樹齢を誇ります。また近年では珍しいドライファエリングも実践しています。ワインメーカーは1999年に殿堂入りした時の人セリア・ウェルチ女史が担当。ワイナリーのウェイティングリストには5000人が控えます。アメリカの消費者から日本にまで問い合わせが入るほどの超人気、希少商品。



## 限定品

商品写真	商品名	AVA	タイプ	年	容量(ml)	希望小売価格	摘要
	<b>Scarecrow</b> スケアクロウ	Rutherford-Napa	赤	2019	750	¥150,000	現定数入荷 完売 Parker Point 100P
Cabernet Sauvignon 100% ラザフォードにあるJ. J. コーン・エステートの“オールドマン”を含む自社畑で収穫されたブドウを使用。光学式選別機で粒を選り分け、スキンコンタクトを21日間後 醗酵、仏産新樽 約 80 %にて 10 ヶ月熟成後、ブレンドして樽に戻し更に12 ヶ月熟成（合計22ヶ月）熟したベリー、ダークチョコレート、バニラ、腐葉土のような香りがグラスから立ち昇り、時間とともに変化を遂げる様は、感動的な驚き。							
	<b>M Etain</b> ムッシュ エタン	Rutherford-Napa	赤	2019	750	¥60,000	限定数入荷 完売
Cabernet Sauvignon 87%, Malbec 8%, Merlot 4%, Petite Verdot 1% スケアクロウと同じ自社畑の樹齢の若い木の葡萄を使用。小ロットで発酵後にブレンド。仏産樽熟成17ヶ月(新樽70%)。熟した果実のたっぷりとした味わいはまるでチェリー・ジュースを思わせ、絹のような滑らかさが最初から最後まで鮮やかな印象を残しつつ複雑味もたっぷり。							



## ナパ・ラザフォード最上級ワインの畑が集まる西側テラスよりまた伝説のワインが生まれる

スケアクロウはラザフォード・ベンチにある銘醸畑・J. J. コーン・エステートの葡萄から生み出される。コーン社の始祖ジョセフ・ジャドソン・コーンはロシア移民の子としてハーレムで貧困の中に育ち、長じて MGM 社のプロダクション・チーフに昇りつめ「ベン・ハー」「オズの魔法使い」などの作品によりハリウッドの黄金時代を築いた。避暑地として購入したナパ・ラザフォードの地は隣人の故グスタフ・ニーバムの勧めでカベルネ・ソーヴィニオンを植えコーン・エステートとして第二次世界大戦後イングルヌックのカベルネに使われ始め、その後はオーパスワン、ニーバウム=コッポラ、ダックホーン、インシグニアにも使われてきた。コーン・エステートでは1960年代半ばに流行した A x R H 1 ハイブリッドの台木を使わなかった為、第2次フィロキセラの被害を免れた1945年植樹のセント・ジョージ台木の古樹が僅か0.8畝残り、“オールド・マン”として珍重され、その葡萄はスケアクロウに使われている。セント・ジョージ台木の古樹は貴重で、J. J. コーンの葡萄樹はナパで最も古いカベルネ・ソーヴィニオンの一つと言われている。



## 創始者 J.J.コーンの孫・有名写真家ブレット・ロペスとその歴史ある畑から生み出す魔法のワイン

ブランド・ネームのスケアクロウは「オズの魔法使い」のカカシのキャラクターと創始者 J. J. コーンに敬意を表して命名。

オーナーのブレット・ロペスは1948年生まれで J. J. コーンの孫。元々は商業写真専門の写真家でリーヴァイス、ホンダ、ハーレイ・ダヴィッドソン、シボレー、コカ・コーラ社を手がけていた。1996年に J. J. が亡くなるとブレットと姉妹2人の間で遺産相続問題が起こる。ラザフォードにある祖父の別荘はブレットにとって思い出の場所であり遺しておきたかったが、姉妹は売却して現金化することを要求。ブレットが地所を買い取るつもりであったが、姉妹は競売で高値での売却を進め、元々400万ドルの評価額の不動産であったのに、最終的には約3,300万ドルにまで高騰した。そこに現れた救世主はフランシス・フォード・コッポラ。ブレットと組み、地所の1/3をブレット、2/3をコッポラと分け合い土地の購入金額はすべてコッポラが用意した。この時入札参加したのは彼らの他にモンダヴィ+ロスチャイルド、アンディ・ペクストファーの合計3組だった。無事に祖父の別荘と周囲の畑を相続できたブレットは払うべき固定資産税の額に驚き、「ワインを造って税金を払うしかない」と決心し J. J. コーン・エステートを継承した。それを機に1998年に商業写真撮影を引退し、ワイナリー経営に専心することになる。

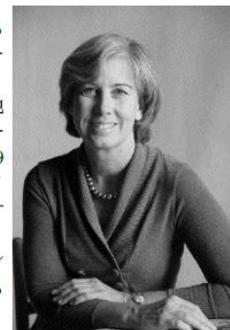
J. J. コーンの本社畑はラザフォード西側テラスにある10畝の畑で、標高は70mから100mのなだらかな斜面。土壌は粘土質ローム、プレザントン・ロームと砂利質ロームから構成される。樹齢の違い、台木の違い、地質の違いなど、条件の違う葡萄樹それぞれの特徴を複雑に組み合わせスケアクロウの味わいを造り出す。ワイン・アドヴォケートは初ヴィンテージの2003年に97点、2007年、2013年、2014年に100点の評価。2011年2月に行われたプレミア・ナパ・ヴァレー・オークションでスケアクロウが出品した2009年ヴィンテージ(60本)がこれまでの最高落札価格12万5千ドル(1千万円超)を記録し、注目を集め、一気にスターダムに駆け上がった。そして2014年2月のオークションではこの記録をあっさりと抜き去り、2012年VTGのスペシャル・ワイン(60本)が倍額の26万ドルを突破し(2千7百万円、1本に換算すると46万円となる)、新記録を更新し、新カルトの名声不動のものとした。2017年2月の同オークションでもトップ・ロットの栄光に輝く。(このワインはオールド・マン100%で造られた非常に貴重なものである。)

## ヴィンヤード・マネージャーはマイケル・ウルフ、ワインメーカーはセリア・ウェルチ



マイケル・ウルフはアラホ、ベクストファー・ヴィンヤードを始めとするナパ300以上の大小ワイナリー、特にプレミアム・ワインの畑の管理を任されている著名ヴィンヤード・マネージャー。

セリア・ウェルチは1982年UCデイヴィス卒業後、アメリカ西海岸、東海岸のワイン産地と南半球の産地で修行を積み、1992年よりロバート・ペピでアシスタント・ワインメーカーを務めながら、コンサルタント業を開始し、1995年にコンサル専門となる、1999年にウーマン・フォー・ワインセンスでワインメーカー殿堂入りを果たし、同時にライジング・スター賞を授与され2008年には“フード&ワイン”誌ワインメーカー・オブ・ジ・イヤーに選出された。現在はフリーの立場でワイン・コンサルタントを行う。他に関わってきたワイナリーにはスタッグリン、ハートウェル、ハリウッド&ヴァインセラ、リンドストローム、コーナーストーンなど。自らのブランド CORRA/コーラも2004年に興し、プレミアム・ワインを造り続けている。



カベルネ ソーヴィニオン ラザフォード ナパ ヴァレー

**2019 Cabernet Sauvignon Rutherford Napa Valley** 希望小売価格 150,000 円(税別)

カベルネ・ソーヴィニオン 100%。  
ラザフォードの自社畑で手摘み収穫されたブドウを使用。オールド・マンを含む。

### ヴィンヤード・マネージャー、マイケル・ウルフのコメント：

2019年は雨に恵まれ、ラザフォードでは2018年には600<sup>mm</sup>だった降雨量が1140<sup>mm</sup>と倍増した。非常に寒く雨の多い冬で、萌芽は前年より2週間遅くなった。5月中旬にもまとまった雨が降り、ブドウ樹の成長段階にエネルギーを与えてくれた。開花時に雨は降ったが、作柄は平年並みで、それ以降の気温は穏やかであった。8月の熱波により一時的にブドウ樹は成長を止めたが、その後ヴェレゾンが早く始まり、色づきも均一であった。9月には何度か涼しい夜があったので果実が新鮮さと酸度を保つことができた。収穫は9月25日に希少な古樹のオールド・マンから開始し、その後同じ台木とクローンの組み合わせで近年植樹した特別ブロックの収穫へと続いた。(J.J. Cohn エステートではフィロキセラに強いセント・ジョージの台木と、オリジナルをマサール・セレクションしたCohnクローンの組み合わせを継承している区画がある)  
収穫は10月まで慎重に最適な成熟度を見て細かいロットごとに行い、10月21日に完了した。(収穫は果実のフレッシュさを保持する為、全て夜摘み) 収量は平均を上回った。

### ワインメーカー、セリア・ウェルチのコメント：

カシス、ブラックベリー、ボイセンベリーの紫黒色のノート、トースティなバニラとスパイスのアロマ。ファースト・アタックの印象はフレッシュで、やや控えめな味わい。中盤は豊かな黒い果実の味わいが広がり、スパイス感と混ざり合う。長い熟成を可能にするに足るに十分な骨格があり、豊富なタンニンはカシミアのような温かみと質感を持つ。

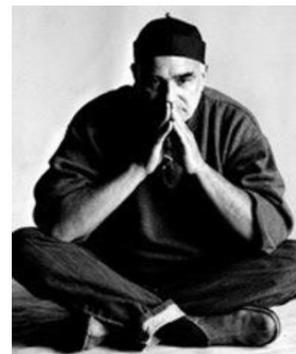
### 醸造情報：

収穫後、房を選別し除梗、光学式選別機で粒を選り分け、スキンコンタクトを21日間とって醗酵させた後、仏産新樽約80%にて10ヶ月熟成後、ブレンドして樽に戻してさらに12ヶ月熟成。清澄とフィルターがけはせずに2021年7月に瓶詰めした。

### パーカーポイント 100 Wine Advocate Issue257 End of Oct. 2021 by Lisa Perotti-Brown

深いガーネット・パープル色。クリーム・ド・カシス、ワイルドブルーベリー、チェリーのチョコレートがけ、ドライハーブ、耕した土、砕いた岩、インドスパイスの香り高さが印象的。ミネラルを含んだ黒い果実の味わいが幾重にも重なり、豊富なタンニンとフレッシュさで縁どられ、長いフィニッシュを持つ、ミディアムからフルボディのワイン。1945年にジョン・ダニエルによって植えられたブドウ樹を含む、由緒ある J.J. コーンのブドウ畑のこの作品は、魔法かと思わせる素晴らしいものである。





# SCARECROW スケアクロウ

## スケアクロウの若木からつくる2つ目のワイン、ムッシュ・エタン

ムッシュ エタン カベルネ ソーヴィニヨン ラザフォード ナパ ヴァレー  
2019 M. ÉTAIN Cabernet Sauvignon Rutherford Napa Valley

希望小売価格 60,000円(税別)

### 限定数再入荷



87% Cabernet Sauvignon, 8% Malbec, 4% Merlot, 1% Petit Verdot

ムッシュ・エタンはオズの魔法使いの「ブリキ男」の名前を冠したワインでスケアクロウと同じ自社畑の樹齢の若い木のブドウを使用している。

ヴィンヤード・マネージャー、マイケル・ウルフの2019年ヴィンテージのコメント：  
2019年はラザフォードに2018年の年間降雨量600mmに比して1140mmと1.8倍の雨に恵まれ、冬は非常に寒く、萌芽は前年より2週間ほど遅かった。5月中旬大雨が降り、6月は開花時の天候が安定せず、作柄は平年並みとなった。気温は穏やかに推移し、8月の熱波で、ブドウ樹の成長は一時的に緩やかになったが、ヴェレゼンは早く均一だった。9月に寒い夜が何度かあり、果実は新鮮さと酸を保つことができた。収穫はオールドメン（樹齢約70年の古樹の愛称）から始まった。もう一つの非灌漑区画には、サン・ジョルジュのルーツストックにコーンのクローンというオールドメンと同じ組み合わせのルーツストックが植えられている。畑ブロック毎に完熟の適正時期を見定めて、10月21日に収穫を終え、最終的に収量は平均を上回った。

ワインメーカー、セリア・ウェルチのムッシュ・エタンへのコメント：

ラザフォードにあるJ. J. Cohn Estateで栽培され、2019年10月12日から21日の間に手摘みで収穫されたブドウのみを使っている。果実は除梗、選果し、ステンレス製の小型タンクで発酵させた後、仏産樽（新樽75%）で合計17ヶ月間熟成し、無清澄、無濾過で2021年4月にボトルングした。生産量は2700ケース。

クランベリー、プラムのような赤い果実アロマ。ラズベリージャム、チェリーボンボン、ザクロの繊細なニュアンスがあり、さらにクローブ、バニラ、パイプタバコ、マホガニーが感じられる。口に含むと、赤い果実のコクと味わいが広がる。リリースしたてでもタンニンが穏やかだが、熟成を経てタンニンは柔らかく変化していく。今は突出することのない穏やかなタンニンだが、熟成させるとさらに柔らかくなる。

Parker Point 95 (Wine Advocate, End of October 2021) by Lisa Perrotti-Brown

ラベルにはブリキ男が描かれています。スケアクロウの瓶首には薫のリボンが巻いてありますが、ムッシュ・エタンの首にはブリキ男にふさ

